

平成23年度 第4回 医学教育企画室会議

議 事 要 旨

日 時：平成23年7月25日（月） 10：30～11：40

場 所：基礎研究棟2階 学術室

出席者：室 長 石田 肇
室 員 青木 一雄 大屋 祐輔 山岡 章浩
加藤 誠也 小宮 一郎 宮田 裕史
平田 哲生 比嘉学務課長代理
オブザーバー 金城 隆展（地域医療部）

欠席者：室 員 栗田 久多佳 崎原 永作 武村 克哉

列席者：事 務 医学教育企画室 比嘉みさき係員
具志堅教務係長
地域医療部 瑞慶覧事務員

審議事項

1. 平成23年度中期計画達成プロジェクトについて

小宮室員から、資料1に基づき、今年度採択された中期計画達成プロジェクトについて説明があり、審議の結果、昨年度に実施した「地域医療学生セミナー」を今年度も行うこと、また、旭川で開催される全国会議に地域枠学生を出席させることが了承された。

石田室長から、「プロフェッショナリズムの育成の推進」について、どのように実施すべきか、また、地域枠2,3年次学生を対象にした教育プログラムを企画する必要がある旨の意見があり、小宮室員の方で、引き続き検討することになった。

2. FD講演会・ワークショップの開催について

①第1回PBL・TBLを実践するための教員向け講演会について（7月29日開催）

小宮室員から、資料2に基づき、「PBL・TBLを実践するための教員向け講演会」の開催について説明があり、審議の結果、7月29日（金）に秋田大学の長谷川仁志教授をお招きし、FD講演会を開催することについて、了承された。今後、第2回の開催についても検討していくことになった。

②FD ワークショップ「プロフェッショナルリズムと倫理」について（8月7日開催）

山岡室員から、配付資料に基づき、FD ワークショップ「プロフェッショナルリズムと倫理」の開催について説明があり、審議の結果、地域医療教育開発講座が主催、医学教育企画室は共催で、立教大学の大学生定義教授をお招きし、教職員及び学生を対象としたFD ワークショップを開催することについて、了承された。今後も、FD ワークショップを定期的に開催する方向で検討していくことになった。

その他、山岡室員から、他大学のFDの取り組み方について、説明があり、本学部においてもFDの企画等を専門とする「FD委員会」等を設置すべきとの提案があった。

審議の結果、「FD委員会」等を設置することについては、教務委員会の意向を参考に、部会形式で進めていく方が良いとの意見があった。

3. ハワイ大学短期研修報告会開催について

大屋室員から、資料3に基づき、今年、ハワイ大学で研修した6年次学生3名の報告内容が良かったとの説明があり、審議の結果、8月18日、学生による「ハワイ大学短期研修報告会」の開催について了承された。

4. 第31回「国内医科大学視察と討論の会」開催について

石田室長から、資料4に基づき、「国内医科大学視察と討論の会」開催について、説明があり、審議の結果、室員の日程が合わないため、今回は石田室長のみが出席することとなった。

5. 平成23年度学習サポート事業について

石田室長から、資料5に基づき、今年度採択された学習サポート事業について、説明があり、種々意見交換の結果、以下の主な意見があり、引き続き検討することとなった。

○昨年度に本事業で実施した地域枠学生と上級生によるPBL学習を行う。

○上級生と低学年による離島実習を行う。

6. 医学英語について

山岡室員から、医学英語について、現在、医学科学生対象に英語で医療面接を行う企画を検討している旨の説明があり、種々意見交換の結果、引き続き検討することになった。

報告事項

1. M4 学生離島地域病院実習について

石田室長から、資料 6 に基づき、M4 学生離島地域病院実習が終了した旨の説明があり、各実習担当教員から以下のとおり、報告があった。

○北部病院担当の平田室員から、実習前後の班別ミーティングの出席について、約 3 分の 1 の学生が指定された時間に来ない等、学生のやる気を感じられないこと。

○八重山病院担当の宮田室員から、実習前後の班別ミーティングについては、9 割以上の学生が出席し、特に問題はなく、学生からの意見として、今回から実施した竹富島の半日研修が好評であったこと、八重山病院からの提出課題であるレポート作成が大変だった等があり、充実していたこと。

○山岡室員から、事前学習会等への出席については、2 名の欠席者がいたが、特に問題はなかったが、実施方法を今後、検討しなければいけない。

○宮古病院担当の小宮室員から、特に問題はなかったが、実習先で琉大出身の教員と交流する機会を作るのも良いのではとの意見があり、次年度は事前に依頼すること。

2. 「倫理総合討論における倫理アドバイザーの関与について」のアンケート結果報告について

地域医療部金城先生から、資料 7 に基づき、2010～2011 年度に試験的に実施した「倫理総合討論における倫理アドバイザーの関与について」のアンケート結果について、以下のとおり報告があった。

「倫理アドバイザーの関与について」は、好評であるが、「医療倫理教育について」は、5 年次後期から 6 年次前期に実施している「倫理総合討論」のみでは、不十分であると考えられるため、低学年次から取り入れることも含め、今後のカリキュラム改正に向け、検討することになった。

3. 電子カルテに関するアンケートについて

石田室長から、資料 8 に基づき、「臨床実習における電子カルテに関するアンケート」についての中間報告があり、以下の意見等があった。

○アンケートの回答がない診療科については、教育連絡主任宛てに再度依頼した方が良い。

○電子カルテに関する説明方法について、実習前のオリエンテーションで、各科の取り決めの一覧表を用いて、学生全員へ説明を行う。次に各科のオリエンテーションで、グループごとに再度、説明してもらうと良い。

○臨床実習の指導の一環として、患者の個人情報を紙媒体に記載する診療科があり、紛失等によって情報漏洩の恐れが考えられるため、検討する必要がある。